

1 計画策定の趣旨

■地域の人口推移

人口減少が進み、少子化が進展し、地域中心都市へ人口が集中する一方で、居住地は広域に分布しており、高齢化の進展も顕著

■地域の公共交通の現状

社会情勢の変化に伴う利用者の減少や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う利用者の大幅な減少など、厳しい状況

■地域の移動特性

学校、病院、ショッピングセンターなどの生活関連施設が地域中心都市に集中しており、周辺町村と地域中心都市の市町村間の移動が多く、地域住民の移動手段の確保が必要

■法制度の状況

地域公共交通に関する法制度が改正され、地域交通に関する基本計画となる「地域公共交通計画」の策定が努力義務化

以上の背景を踏まえ、地域住民の生活や地域の観光などを支える持続可能な交通体系を構築するため、地域の公共交通政策の基本となる「北海道釧路・根室地域公共交通計画」を策定する。

2 計画の区域

北海道釧路総合振興局管内及び根室振興局管内の13市町村

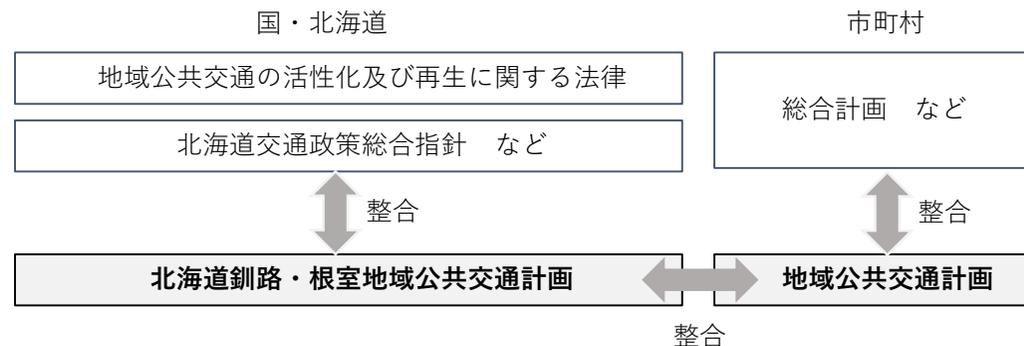


3 計画の期間

202●（令和●）年度～ 202●（令和●）年度の5年間

4 計画の位置づけ

本計画は、国の法令・関係計画や北海道の上位・関連計画を踏まえ、当地域の各市町村の策定済みの地域公共交通計画や関連計画等と整合を図りながら、当地域の公共交通計画の基本計画として策定するものである。



5 地域の現状

- 人口減少、生徒数減少、高齢化率の増加
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う観光客の減少
- 日常生活の交通手段は自動車利用が中心
- 公共交通利用者の減少
- 交通事業者、地方自治体の負担の増加

6 地域の課題

- 公共交通の確保・維持
- 利用実態に応じた持続可能な公共交通の確保
- 公共交通関係者の連携
- 公共交通の利用促進
- 各モード間の接続性向上
- 生活圏交通の充足による生活の足の確保

7 将来像・基本方針

※今後整理していく

【目指す将来像】

市町村・交通事業者などの公共交通関係者と連携した釧路・根室地域の持続可能な公共交通ネットワークの構築

【基本方針①】

地域住民や来訪者の広域移動を支える広域交通の維持・確保

目標① 中心都市間をつなぐ公共交通ネットワークの確保

目標② 中心都市と周辺町村をつなぐ広域交通ネットワークの確保

【基本方針②】

市町村内の生活圏交通と広域交通の持続性向上、交通拠点の機能強化

目標③ 幹線交通・広域交通・生活圏交通の円滑化

【基本方針③】

公共交通の利用促進・持続性の確保

目標④ 公共交通の利便性向上と理解醸成による利用促進

目標⑤ 観光資源などを活かした利用促進

8 目標達成のための施策

※今後整理していく

本計画の基本方針の実現、目標を達成するため次の施策に取り組む。

① 広域交通の確保の方針の設定
公共関係者が共通認識を持ち、それぞれ連携しながら広域交通ネットワークの確保に取り組む。

② 運行形態の見直し等の検討
地域の実情に応じ、運行形態の見直しや利用促進策などの検討・協議。

③ 幹線交通、広域交通、生活圏交通間の乗換環境の向上
地域公共交通計画（市町村単独計画）と本計画との連動を図りながら検討。

④ 公共交通利用の意識醸成を図る広報活動
公共交通の利用促進のための広報。

⑤ 観光資源などを活かした利用促進
観光誘客と公共交通利用促進が一体となった取組を検討。

9 目標値設定・計画の推進体制

※今後整理していく

本計画の施策の進捗状況を確認するため、目標値を設定し、計画及び施策の進捗管理を行う。

評価・検証に向けP D C Aサイクルを構築する。